

若手研究者コラムリレー

鈴木 宏哉 (すずき こうや)



プロフィール

順天堂大学スポーツ健康科学部 先任准教授
日本体育学会の専門領域: 発育発達/測定評価

岩手県生まれ、娘1人、息子2人
1999年順天堂大学スポーツ健康科学部 卒業
2005年筑波大学大学院体育科学研究科 修了 博士(体育科学)
大学院修了後、東亜大学、東北学院大学を経て現職
現在、日本体育学会「若手の会」代表世話人をしています。
家族のこと、大学の仕事、大学以外の仕事、3つのバランスに悩んでいます。

E-mail: ko-suzuki@juntendo.ac.jp



わたしの研究

子どもの発育発達を支える研究 がしたい!

私の研究変遷をキーワードと矢印で表してみます。
「(大学院)サッカー&技能評価&構造方程式モデリング⇒(就職後)運動経験&体力⇒運動経験&身体活動&持ち越し⇒子ども&生活改善&体力発達⇒子ども&被災地&運動環境⇒子ども&体力&国際比較⇒子ども&パラ教育」
院生時代は研究テクニックを学んだと思っています。その後のテーマは、子どもにどんな環境(社会環境や教育環境)が必要かを考えることにつながるエビデンスを求めた研究です。現在は、学生時代までの体力や経験と卒後の健康および習慣に関する大規模調査研究(下写真)に取り組んでいます。



<https://www.juntendo.ac.jp/jfit/ja/>

わたしの渾身の論文・書籍・記事

鈴木宏哉・小林敬子: 数学の苦手な人が書いた寄り道統計学. 東北大学出版会, 2012.

必読

(なんでも帳)

記念すべき、コラムリレーの第1走者に抜擢された理由は、言い出しっぱだからです。タレントのタモリさんが某テレビ局でやっていた番組のゲスト(お友達)紹介のコーナーをイメージしました。友達・仲間は何ものにも代えがたい財産だと思います。自分一人では解決できないことでも仲間の助けを借りれば解決できることもあると思います。大学院に進学すると、同じ志をもった仲間に出会うことができます。しかし、日本全国には体育・スポーツを専門に学ぶ大学院生がもっと沢山います。この仲間達と専門領域を超えた交流ができれば、自身の研究にとどまらず、体育・スポーツの研究の発展に寄与できると思います。どんな仲間がいるのかを知るきっかけになればと思い、コラムリレーを企画しました。Vol.15までは世話人の中でリレーをする予定です。

日本体育学会には40歳未満の会員が約2000人います。この一人ひとりが日常的に意見を交わすことができる場、それが「若手の会」です。メーリングリストを介して多くの若手につながる場になれば幸いです。若手の会に年齢制限はありません。多くの会員の皆様と交流できることを楽しみにしております。

最後に、「子ども(乳幼児から大学生まで)の体力」をキーワードと一緒に研究していただける方からのご連絡をお待ちしております。博士課程、ポスドクも受入可能です。

○次回のコラムリレーは筑波大学附属病院 病院講師の「根本みゆき」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました!
→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村、田中)

